

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 8 月 16 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【日枝小学校で講話をするFAO 駐日連絡事務所長の様子】

## 食品ロス削減についてFAO 駐日連絡事務所長が日枝小学校で講演しました

7月4日に、国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所のンブリ・チャールズ・ポリコ所長が南区の横浜市立日枝小学校を訪れ、5・6年生（210人）に向けて世界の食糧事情などについて講話を行いました。



国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）のターゲットの中にある「食品ロス削減」に取り組んでいるFAO駐日連絡事務所と資源循環局及び横浜市教育委員会ESD推進校である日枝小学校が連携し、食品ロス削減に向けた学習プログラムを策定しました。世界の食糧事情に関する講話を行い、今後、食品ロス削減に向けて何ができるかを皆さんと考えました。

また、講話後、ポリコ所長は5年生の児童と一緒に給食を楽しみました。

## TICAD7 横浜開催：UNDP セミナーが開催されました

6月27日に横浜国立大学、28日に横浜市立大学にて、UNDP（国連開発計画）のアフリカ開発会議（TICAD）プログラムアドバイザー 小松原茂樹氏を講師として招いたUNDPセミナーが開催されました。



「アフリカ開発とアフリカ開発会議（TICAD）」と題し行われたセミナーには、両日とも、約100名の学生等が参加しTICADの経緯や意義、グローバルな開発課題である持続可能な開発目標（SDGs）とアフリカ開発等について知見を深めました。



また、この貴重な機会に、小松原氏へ質問を寄せる多くの学生の様子が見られました。

## 第8回都市開発フォーラムをテーマに第26回Y-PORTワークショップを開催しました

本年7月下旬にベトナム・ダナン市で開催した第8回都市開発フォーラムに向けて、7月5日に第26回Y-PORTワークショップを市内で開催しました。



今回のワークショップでは、横浜市国際局国際協力課よりフォーラムの開催案内と情報共有、及びY-PORT事業におけるダナン市との都市間連携の活動状況や今後の展開予定についての紹介を行いました。その後、「固形廃棄物・リサイクル・汚泥処理」、「漁港地区再開発」、「省エネ（ビル・ホテル・工場）」、「都市交通（公共交通）」、「防災」の5つのテーマで、企業等とグループディスカッションが行われました。